

（一社）近畿消化器内視鏡技師会 主催 第46回プラクティスセミナー

今回のセミナーでは、「高周波治療の基礎と実践」をテーマにしたハンズオンを行います。

これから ESD や EMR など治療介助を始める技師の方々や、日頃の疑問点などを解消したい方を対象に、ERBE 製 VIO シリーズを用いて、切開波や凝固波における各モードの違い、ソフト凝固や APC の特性、対極板の安全性や機器の点検方法、ESD/EMR に使用する各デバイスを用いた放電特性のハンズオンなど、寒天モデル等を用いて実践解説します。

本セミナーでは、内視鏡業務に関わり始めて間もない方、これから消化器内視鏡技師を目指す方、施設では実施していないが興味ある方も参加可能です。多くの皆さまの参加をお待ち申し上げます。

開催日：2025年2月16日(日)

会場：三笑堂プロセスセンター4階 上田ホール
(京都市南区上鳥羽大物町 71)

※現地開催のみ。オンライン配信はありません。

受講料：近畿内視鏡技師会 会員 6,000 円 非会員 12,000 円

定員：計 40 名 (第 1 部、第 2 部 各 20 名)

申込期間：近畿技師会 会員の方 1月7日(火)～2月7日(金)

非会員の方 1月27日(月)～2月7日(金)



【開催時間】 ※1部と2部の入れ替え制です(同じ内容になります)

第1部 9:30～12:40 (受付 9:00 より)

第2部 13:15～16:30 (受付 12:50 より)

【セミナー内容】(仮)

<基礎講義>

基礎講義①:電気手術器 VIO3の基礎と内視鏡治療に用いるモードの紹介

基礎講義②:VIO3 を用いた臨床実践例(ESD、凝固止血関連)

<ハンズオンセミナー>

- ① 切開波・凝固波の実践:ESD に用いるデバイスを使用し VIO3“切開波”“凝固波”を体験
- ② ソフト凝固・APC の実践:止血処置に使用する各モードの使い分けと適切な条件を解説
- ③ 対極板・始業点検:対極板モデルを用いて、電流回収時の熱特性を理解
- ④ EMR のシミュレーショントレーニング:スネア操作等の EMR トレーニング
- ⑤ 局注トレーニング:局注モデルを用いて注入圧のコントロールを学ぶ

*各グループ、5つのブースに分かれて、ローテーションでトレーニングを行います。

*ハンズオン用の資料はございません。ご自身に必要なメモや筆記具はご持参下さい。

*医学講義の実施はありません。

◎内視鏡技師更新時ポイントの受講証明書となります。(申請中)

【お問合せ先】(一社)近畿消化器内視鏡技師会 事務局

〒651-0086 神戸市中央区磯上通 4 丁目 1-14 三宮スカイビル 6 階 (株)コンファラボ内

TEL: 050-5527-7192 (平日10:00～18:00) E-MAIL:office@kinki-gets.com

申込みはこちらから→

